

平成 28 年度後期

講義科目： 現代経営学応用研究（公益企業論）

講義日程： 11 月 11 日（金），18 日（金），25 日（金），12 月 2 日（金）

いずれも 5 時限目（18:20～19:50），6 時限目（20:00～21:30）

梅田ゲートタワー 8 階「神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ」

担当教員： 経営学研究科 教授 正司 健一（11 月 11 日，18 日）

経営学研究科 准教授 三古 展弘（11 月 25 日，12 月 2 日）

#### 1. 本講義のテーマと到達目標

テーマ：いわゆる公共サービスを提供している公益企業に関連する問題について、交通分野を題材に学びます。具体的トピックとしては、(1)一般企業と異なってなぜ規制が必要とされるのか、たとえば道路サービスがなぜ公共なのか、私鉄は事業をなぜ多角化しているのか、です。あわせて交通行動（消費者行動）分析についても紹介します。

到達目標：理論をベースに理解し、現実問題を自ら分析できる基礎を習得することが到達目標です。

#### 2. 授業の概要と計画

11 月 20 日（金），5 時限「公益事業の特性と規制政策」，6 時限「規制政策の変化と企業行動」

運輸・電気・ガス・水道・電気通信等公益事業の特性と、これに起因する規制政策について、理論的背景を紹介するとともに、現実の動きを解説します。講義では、交通分野を例にして話を進めますが、その議論は、電気・ガス・水道・電気通信等いわゆる公共サービスを供給している公益企業全般に共通するものです。

5 時限目は、旅客輸送サービスを例にしながら、その生産構造、そして価格規制や参入規制といった経済的規制にかかわる理論のエッセンスを解説します。6 時限目には、近年の規制緩和の動きに対する理論的背景やその効果の研究成果の紹介を行いながら、今後の展開について議論します。

参考資料：

神戸大学経済経営学会編(2011), 『ハンドブック経営学』, 第 15 章, ミネルヴァ書房.

事前課題：「公共サービス」をあなたならどう定義するか、あらかじめ考えたうえで、講義にのぞんでください。

11月27日（金）、5時限「交通サービスの民間供給」、6時限「私鉄の経営戦略について」

前週で議論した経済的規制下にある公益企業のビジネスモデルにかかわる議論を行います。議論対象として取りあげるのは都市（地域）旅客輸送を本分に行っている私鉄です。

5時限目は、交通サービスの民間供給をめぐる世界的な議論、とらえ方を簡単に紹介した後、わが国独特の発展を遂げてきた私鉄のビジネスモデルを検討します。6時限目は、（大手）私鉄の多角化戦略を中心に講義を行います。

事前課題・最終課題については、授業中に指示します。

参考資料：

水谷文俊(2008),「私鉄経営とビジネスシステム」,『一橋ビジネスレビュー』,第56巻第1号, pp.34-45.

正司健一(2001),『都市公共交通政策：民間供給と公的規制』,千倉書房,第4～6章.

その他,参考文献

公益事業学会編(2005),『日本の公益事業』,白桃書房.

植草益(2000),『公的規制の経済学』,NTT出版.

日本交通学会編(2011),『交通経済ハンドブック』,白桃書房.

竹内健蔵(2013),『なぜタクシーは動かなくてもメーターが上がるのか：交通経済学でわかる交通の謎』,NTT出版.

11月25日（金）5時限「交通行動（消費者行動）の理解1」，6時限「交通行動（消費者行動）の理解2」

公益企業経営を行っていくうえに必要な需要予測の観点から，需要の特徴をとらえます．そのためのデータ収集法，データの見方などについて紹介します．需要予測の事後評価などについても取り扱います．

特に，交通に関する需要を取り扱いますが，考え方は他の公益企業やマーケティングなどの他の分野にも適用できます．

事前課題：以下についてA4レポート用紙半分程度に記入して，2016年11月24日12:00（正午）（GMT+9）までにBEEFのページから提出してください（神戸大の学生ではなく，BEEFのページが使えない場合はsanko@kobe-u.ac.jpまでメールで提出してください）．レポートの1行目に学籍番号，氏名とフリガナを書いてください．BEEFのページにレポート用紙をアップするので，それを使っても構いません．

- ・ あなたの仕事に関して，何かの需要を予測することはありますか．そのことについて簡単に説明してください．また，予測において何が難しいかなどを説明してください．需要を予測することがない場合は，需要でなくてもよいので，何かを予測することを考えてください．講義の中で使うことがありますので，公表できない情報は含めないでください．

参考資料：

北村隆一：変動についての試行的考察，土木計画学研究・論文集，第20巻，1-15，2003．[https://www.jstage.jst.go.jp/article/journalip1984/20/0/20\\_0\\_1/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/journalip1984/20/0/20_0_1/_pdf)

12月2日（金）5時限「交通行動（消費者行動）の分析1」，6時限「交通行動（消費者行動）の分析2」

多くの意思決定者（個人，世帯，企業など）にとって毎日は選択の連続です．そのような意思決定に関する分析に適用可能な方法として，非集計離散選択モデルについて取り扱います．5時限目は理論を説明し，6時限目に演習を行います．

事前準備：エクセルと分析ツールを使用しますので，ノートパソコンを持参の上，分析ツールをインストールしておいてください．分析ツールのインストール方法の例を別ファイルで示します．バージョンによって違いがありますので，「エクセル 分析ツール」などで検索して適した方法を見つけてください．

参考資料：

北村隆一・森川高行編著：交通行動の分析とモデリング，技報堂出版，2002．絶版なので必要な人は 103～122 ページを図書館でコピーしてください．

## 最終課題

以下の課題の中から 1 つを選び，レポートとしてまとめなさい．

- あなたの業界で重要な変動・変化・差異について説明し，それを観測したりそれに対応したりするためにどのような方法があるか説明しなさい．
- あなたの業界で集計化すると見えなくなる要因について説明し，集計化する前の情報と集計化後の情報を予測にどのように利用できるか説明しなさい．
- あなたの業界で予測の誤りと予測の難しさの原因について説明しなさい．
- あなたの業界では何について安定し，何について安定していないか，またその常識が覆される可能性について説明しなさい．

## 注意事項

- あなた独自の考察を行うために課題を拡張して再設定することを歓迎する．
- 評価のポイント：他の人からは得られない，その業界を知るあるいはその仕事を担当した，あなたからしか得られない考察を含んでいること．
- 分量 A4 用紙 2～3 枚（ただし，どうしてもという場合は増えても良い）
- BEEF のページから提出してください（神戸大の学生ではなく，BEEF のページが使えない場合は sanko@kobe-u.ac.jp までメールで提出してください）．
- レポートの 1 行目に学籍番号と氏名を書いてください．BEEF のページにレポート用紙をアップするので，それを使っても構いません．
- 期限は 2016 年 12 月 23 日（金・祝）23:55 (GMT+9)

3. 成績評価と基準

授業出席・小課題（小課題とは最終課題以外の課題のことです。正司担当分，三古担当分の両方を提出する必要があります）（40%）

最終課題（正司担当分，三古担当分のいずれか一方を提出してください）（60%）

神戸大学経営学研究科の基準に基づいて評価します。

4. 履修上の注意（準備学習・復習，関連科目情報等を含む）

履修上の注意（関連科目情報）

ビジネスエコノミクス応用研究を履修していることが望ましい。

準備学習・復習

必要な準備学習は必要であれば，講義中，MBA用のホームページ，BEEFのページなどで示します。

5. オフィスアワー・連絡先

とくにオフィスアワーは設けていませんが，講義の前後やメール等で対応します。

6. 教科書

とくに指定しません。

7. 参考書・参考資料等

必要な資料は適宜配布することを基本とします。

BEEFあるいはMBAのページからのダウンロードをお願いします。